☺Smile　God　Loves　You

長崎南山小学校 学校生活だより ４月号

南山っ子通信

No.110　　2022.04.27　担当：宗

令和４年度 学校生活目標

＜愛徳＞

南山っ子のあいさつをしよう

＜努力＞

だれにでも 自分から あいさつをしよう。
どんなときでも あいさつをしよう。
みんなが笑顔になる あいさつをしよう。

＜マリア様にならい南山っ子のあいさつをしましょう＞

校長先生は、聖書に書かれているマリア様の話をしながら、自分から挨拶をすることの大切さを教えてくださいました。今日は、その１つ目の話です。

「マリアの挨拶をエリサベトが聞いたとき、その胎内の子がおどった。エリサベトは聖霊に満たされて、声高らかに言った。『あなたは女の中で祝福された方です。胎内のお子さまも祝福されています』」

ルカによる福音書１章41，42節

💗マリア様も身ごもっておられましたが、エリサベトおばさんの出産を助けるために訪れました。自分から挨拶をするマリア様の姿から、あたたかい愛と思いやりが伝わってきます。

♪聖歌「マリア（聖母賛歌）」

あたたかい 春のような しずかな たたずまい
信じた道を生きて 御子（みこ）を 我らに与えられた
マリア みんなを包む その やさしい心
マリア いつも そばにいて そっと みてくださる

☺令和４年度 入学式にて

南山小学校での始まりの日、校長先生が１年生に見せてくれたのは、一つの筆箱でした。中に入っているのは、もちろん鉛筆と筆箱です。そして、こう話されました。

「使えば使うほど鉛筆は短くなり、消しゴムは小さくなります。」

１年生は、これから始まる小学校での勉強を思い浮かべているのでしょう。とてもうれしそうに聞いていました。

それから、校長先生は、こんな質問をしました。

「小学校の中で、使えば使うほど増えるものは何でしょう。」

これには１年生も児童代表として参加した６年生もすぐには答えられないようでしたが、とても楽しそうに答えを考えていました。

答えは、『南山っ子のあいさつ』でした。校長先生が教えてくださったのは、南山っ子の特別な挨拶です。マリア様にならい、私たちも自分からどんなときでも挨拶をし、出会う人を幸せにしてあげようというものです。

「誰かの挨拶によって元気をもらった先生が、『〇〇さんはとてもすてきな挨拶をしてくれましたよ。』と他の先生にも話したりするでしょう。そんな話が学校中に広がるでしょう。挨拶は、すればするほど増えていくものです。」

そんな話を聞いている１年生の背中がすうっと伸びたようにも見えました。６年生は、きっとお手本になってくれることでしょう。新しい仲間を迎えた小学校に、元気な挨拶の声が響くことを楽しみにしています。

そして、出会う人を幸せにしてあげられる南山っ子になってほしいと願っています。私たちもマリア様にならい、あたたかい挨拶で子どもたちを迎えたいと思っています。

☺育友会総会にて

新型コロナ感染対策のため、役員の方のみ、学級担任も各学年１名ずつの参加という規模を縮小した総会となりましたが、久しぶりに皆様とお会いすることができました。これから、少しずつ例年通りに保護者の皆様に学校にもおいでいただき、近くで子どもたちの成長を見守っていただくことができるようになることを心から願っています。

理事長スタン神父様より、本校の教育方針『人間の尊厳のために』についての話がありました。

スタン神様は、30年以上前にも、創立者のウイゼン神父様と共にこの南山で働いておられました。創立者の『南山ファミリー』という言葉を思い起こしながら、「心を育てたい。子どもたちの心を大きくしたい。ミサや祈りを通して自分だけでなく、隣の人を大切にすることができるようすること、それが、南山ファミリーの使命です。」とおっしゃいました。

子どもと家庭と学校とが大きな南山ファミリーとなり、あたたかい南山学園の中で子どもたちの心を大切に育てていきましょう。

『静かに祈り思いやりのある行動のできる子』
『よく聞き考え最後まで手中して学習のできる子』
『よく遊び体をきたえる元気な子』

そのような姿をめざしながら、日々、一人ひとりのよさを大切にしていきたいと思います。

今年度も、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

１年生 生活科「学校たんけん」

２年生が、学校探検に連れて行ってくれました。

職員室の探検！ 校長先生発見！

「はい。いいですよ。」

「サインをしてください。」

「見つけたよ。」心のカメラで撮影中！

やさしく 背中に手をそえて
案内をする二年生。
「一年生が、かわいい」
と言っているそうです。